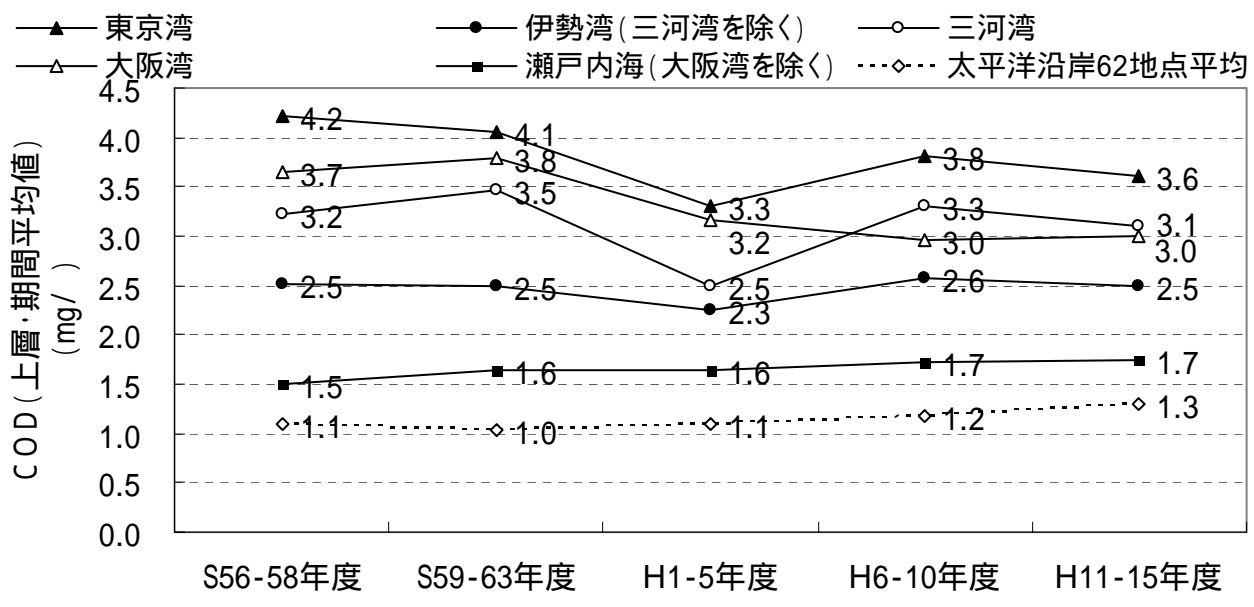


出典) 公共用水域水質測定結果(環境省)

備考) 黒潮の流路に近接する太平洋沿岸県の環境基準点のうち、閉鎖性海域、港湾及び漁港等の陸域の影響を受けやすいと考えられる環境基準点を除外した62地点の平均値。

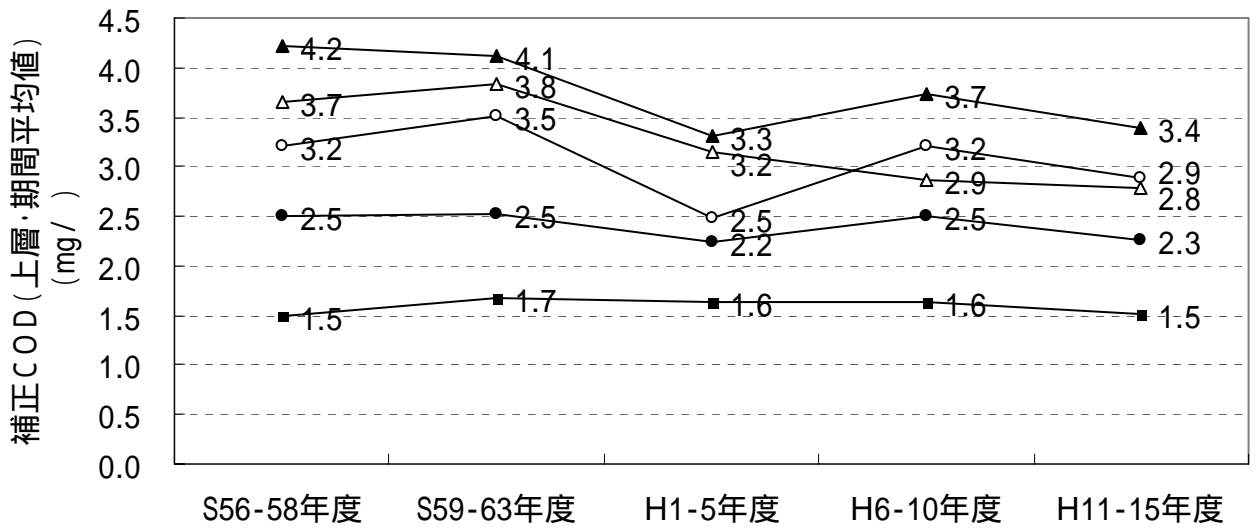
図7 太平洋沿岸における平均CODの推移



出典) 太平洋沿岸 62 地点平均については、公共用水域水質測定結果(環境省)。その他の海域については、広域総合水質調査(環境省)。

図8 海域別のCODの推移

▲ 東京湾 ● 伊勢湾(三河湾を除く) ○ 三河湾 △ 大阪湾 ■ 瀬戸内海(大阪湾を除く)

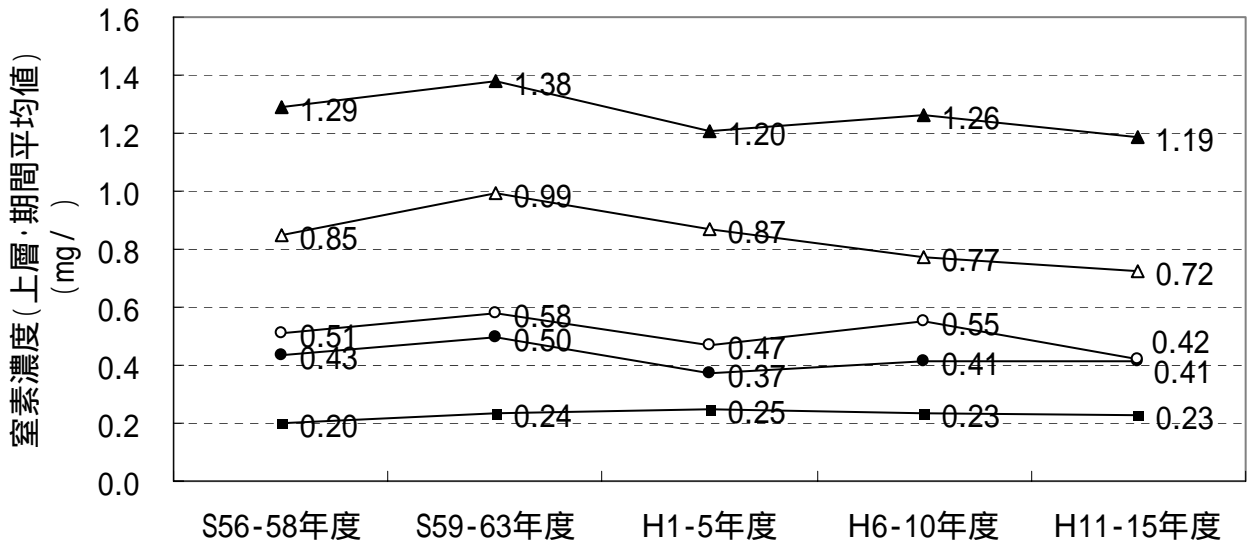


出典) 広域総合水質調査(環境省)、公共用水域水質測定結果(環境省)

備考) 補正CODとは、各指定水域のCODから、昭和56~58年度の期間平均濃度を基準とする太平洋沿岸における平均CODの変化分を差し引いた値。

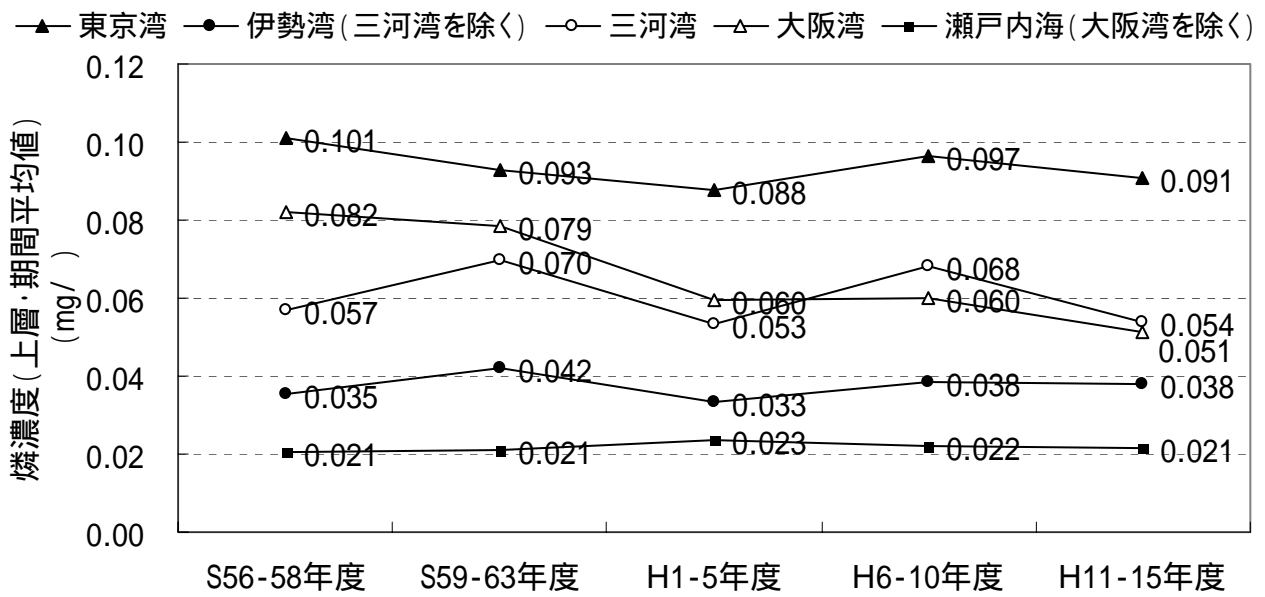
図9 海域別の補正CODの推移

▲ 東京湾 ● 伊勢湾(三河湾を除く) ○ 三河湾 △ 大阪湾 ■ 瀬戸内海(大阪湾を除く)



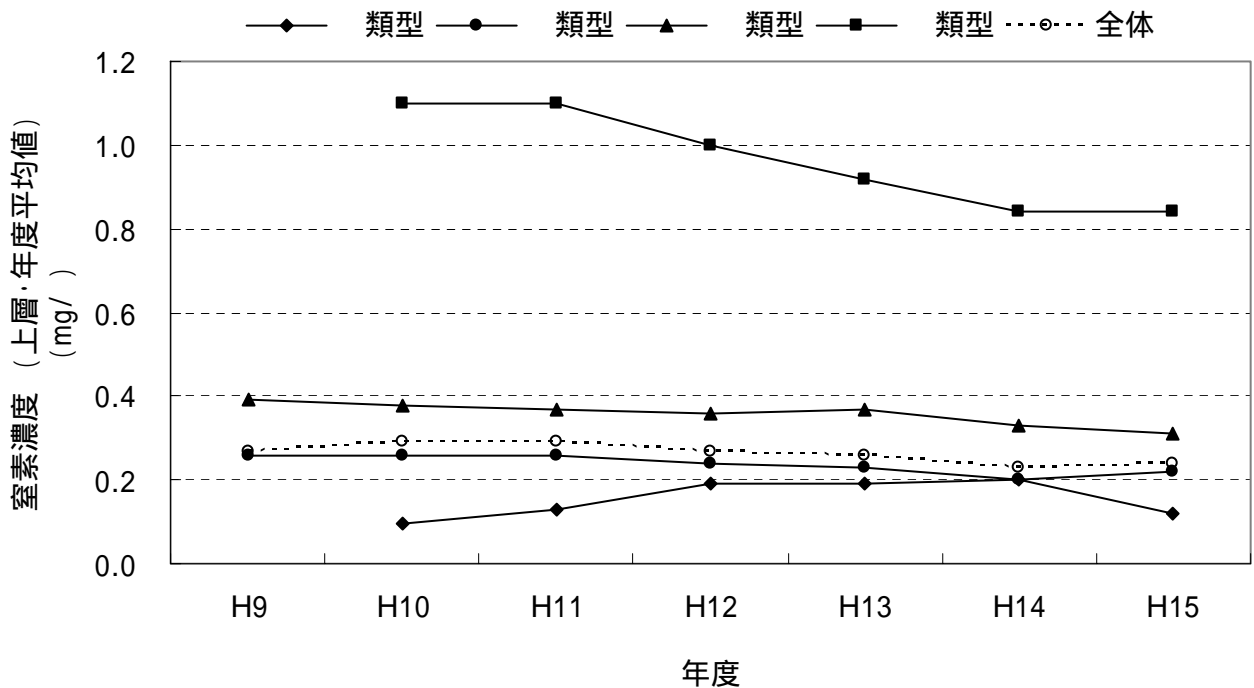
出典) 広域総合水質調査(環境省)

図10 海域別の窒素濃度の推移



出典) 広域総合水質調査(環境省)

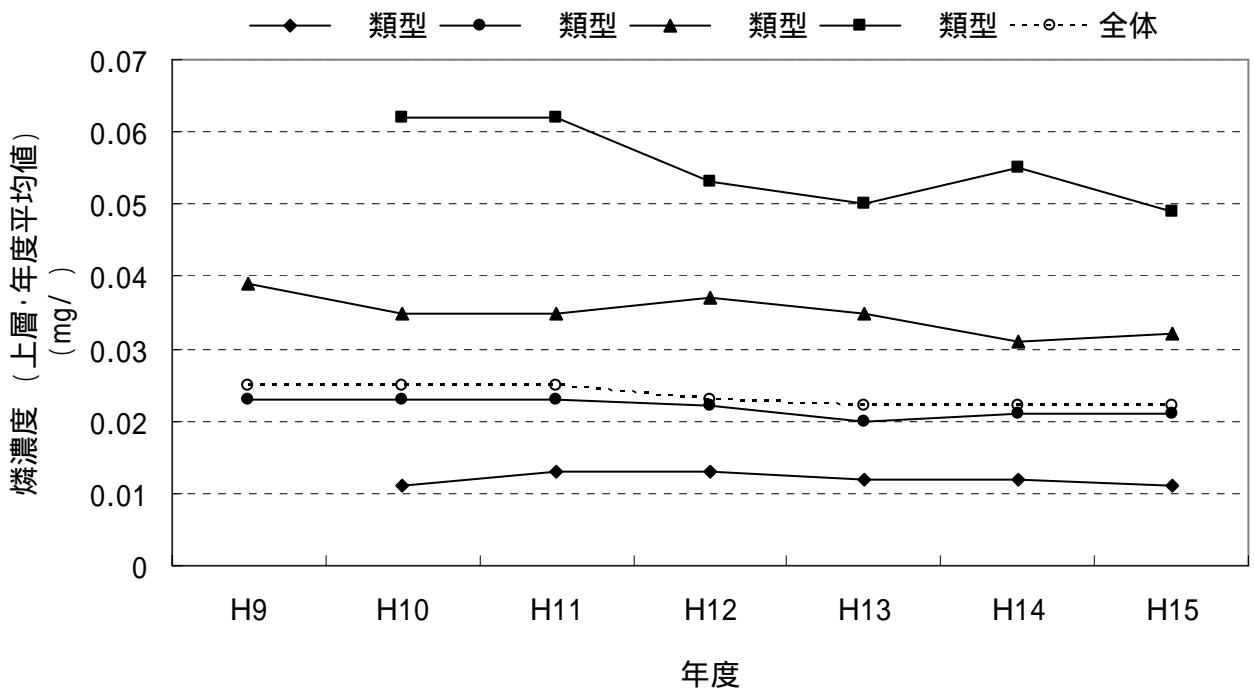
図1-1 海域別の燐濃度の推移



出典) 公共用水域水質測定結果(環境省)

備考) 平成16年度の値は速報値。 、 、 及び 類型の窒素の環境基準値は、それぞれ 0.2 mg/ 以下、0.3 mg/ 以下、0.6 mg/ 以下、1.0 mg/ 以下。

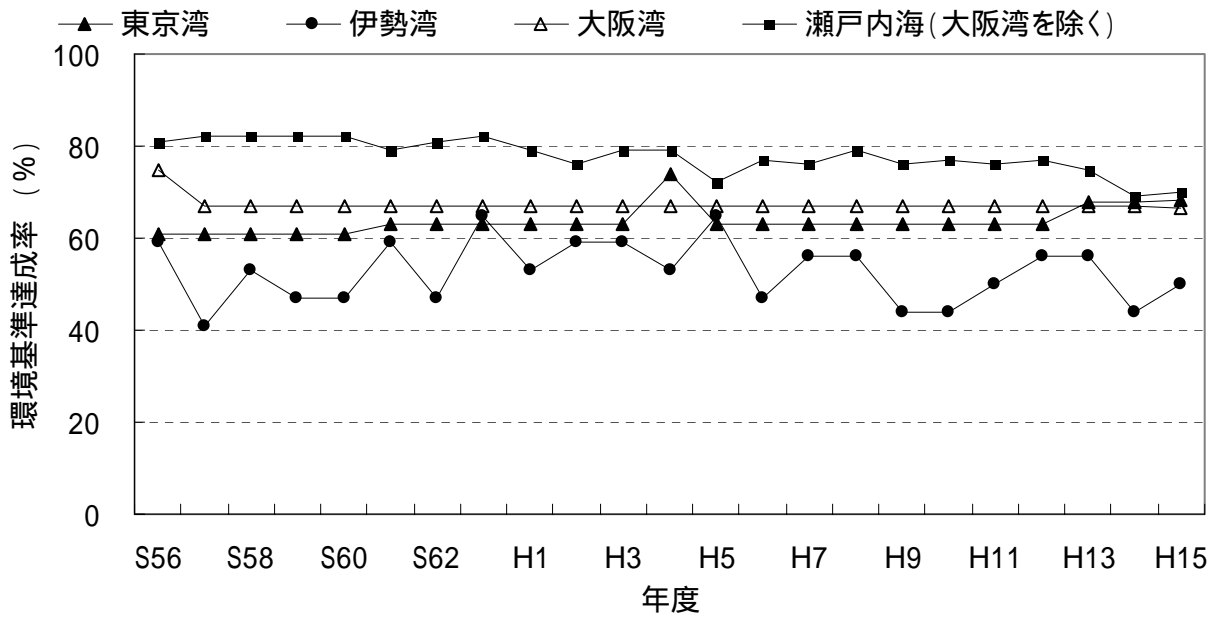
図1-2 瀬戸内海(大阪湾を除く)における窒素濃度の推移



出典) 公共用水域水質測定結果(環境省)

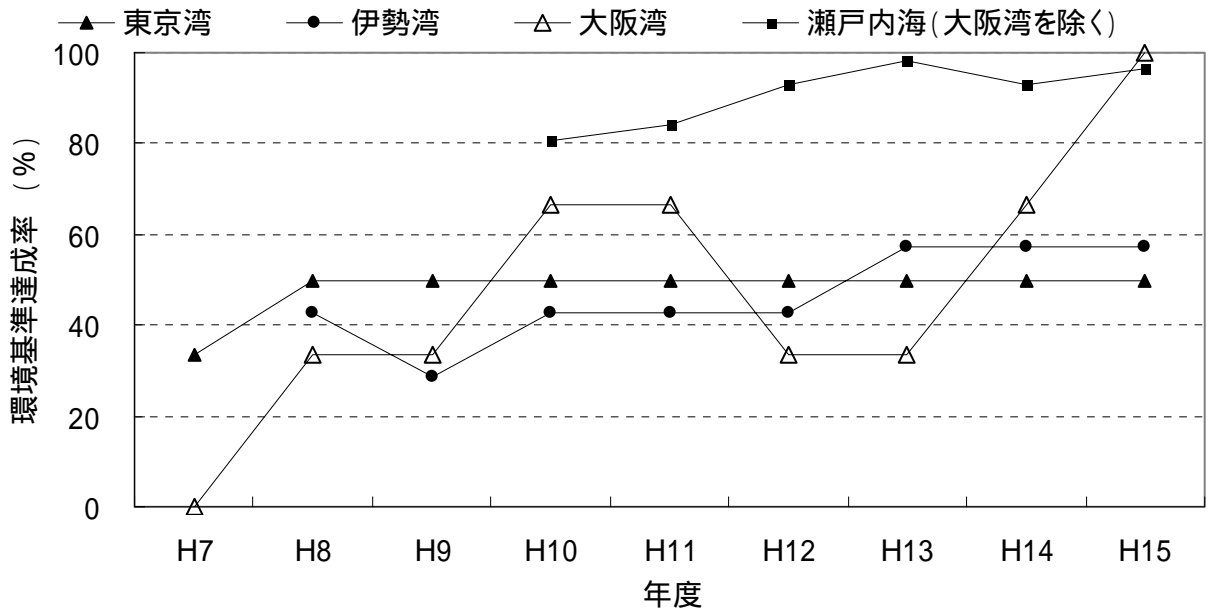
備考) 、 、 及び 類型の磷の環境基準値は、それぞれ 0.02 mg/ 以下、0.03 mg/ 以下、0.05 mg/ 以下、0.09 mg/ 以下。

図13 瀬戸内海（大阪湾を除く）における磷濃度の推移



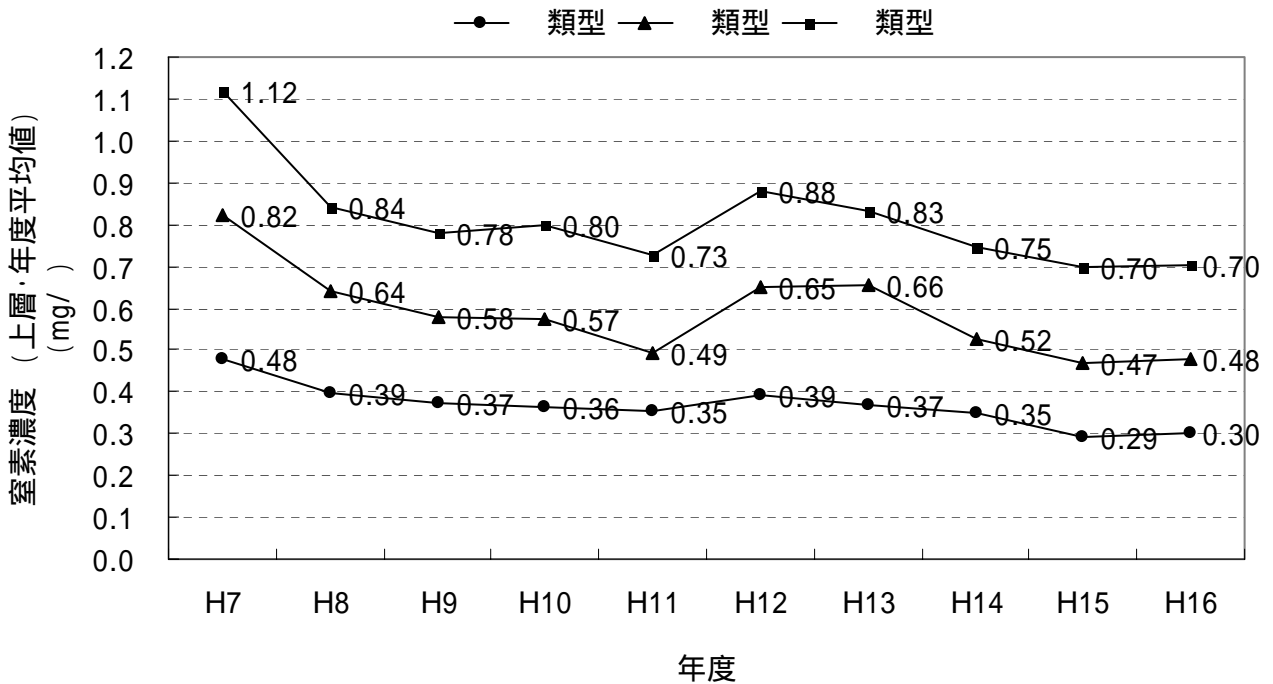
出典) 公共用水域水質測定結果(環境省)

図14 CODの環境基準達成率の推移



出典) 公共用水域水質測定結果(環境省)

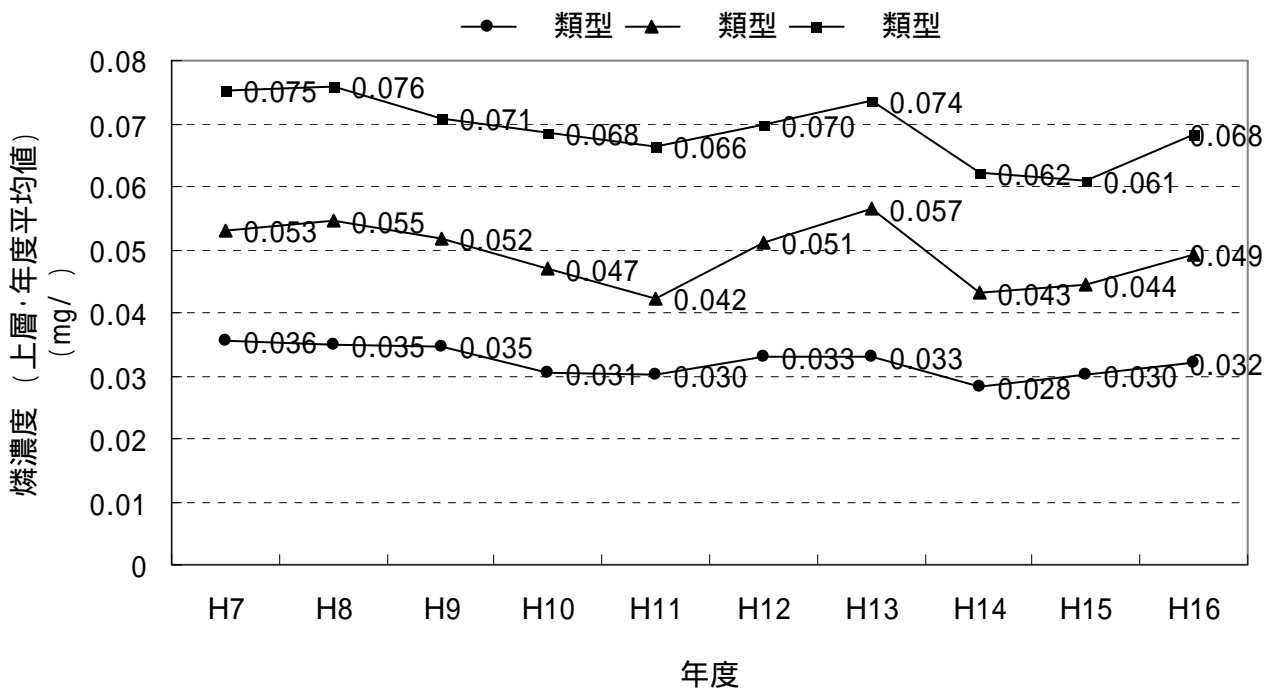
図15 窒素及び磷の環境基準達成率の推移



出典) 公共用水域水質測定結果(環境省)

備考) 平成 16 年度の値は速報値。 、 及び 類型の窒素の環境基準値は、それぞれ 0.3mg/ 以下、0.6 mg/ 以下、1.0 mg/ 以下。

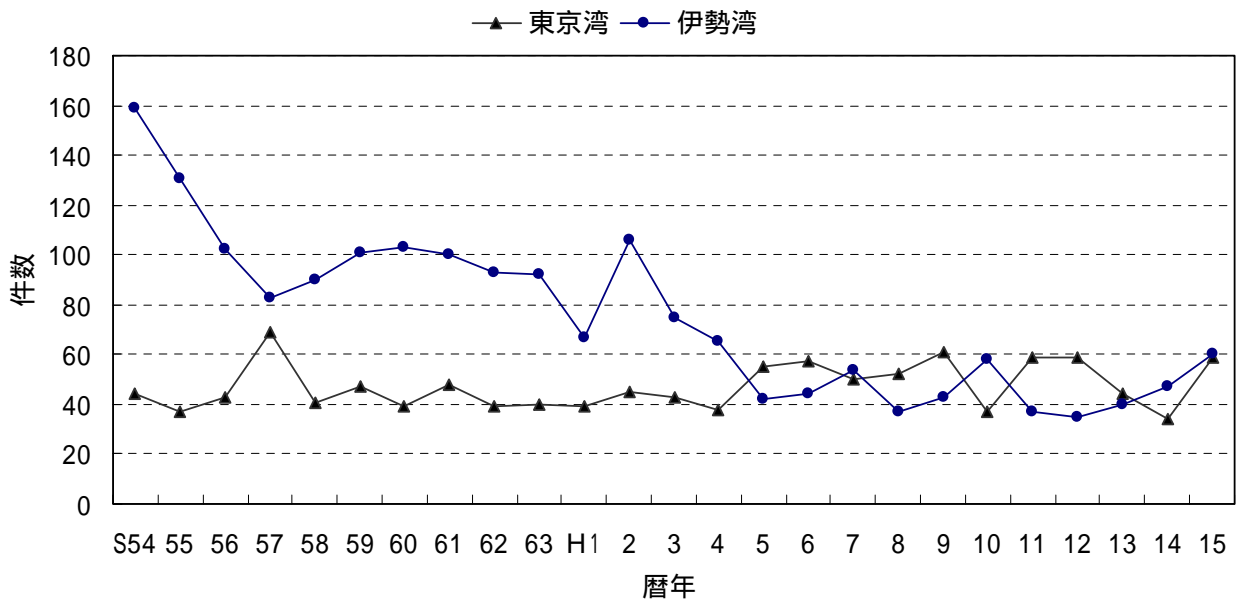
図16 大阪湾における窒素濃度の推移



出典) 公共用水域水質測定結果(環境省)

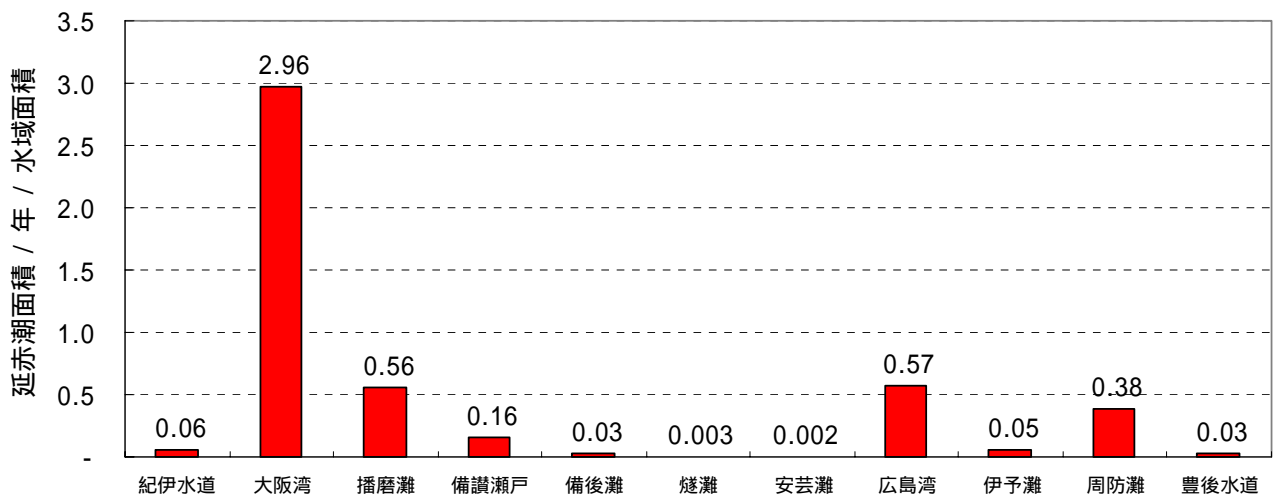
備考) 平成 16 年度の値は速報値。、及び 類型のリンの環境基準値は、それぞれ 0.03mg/ 以下、0.05 mg/ 以下、0.09 mg/ 以下。

図 1 7 大阪湾におけるリン濃度の推移



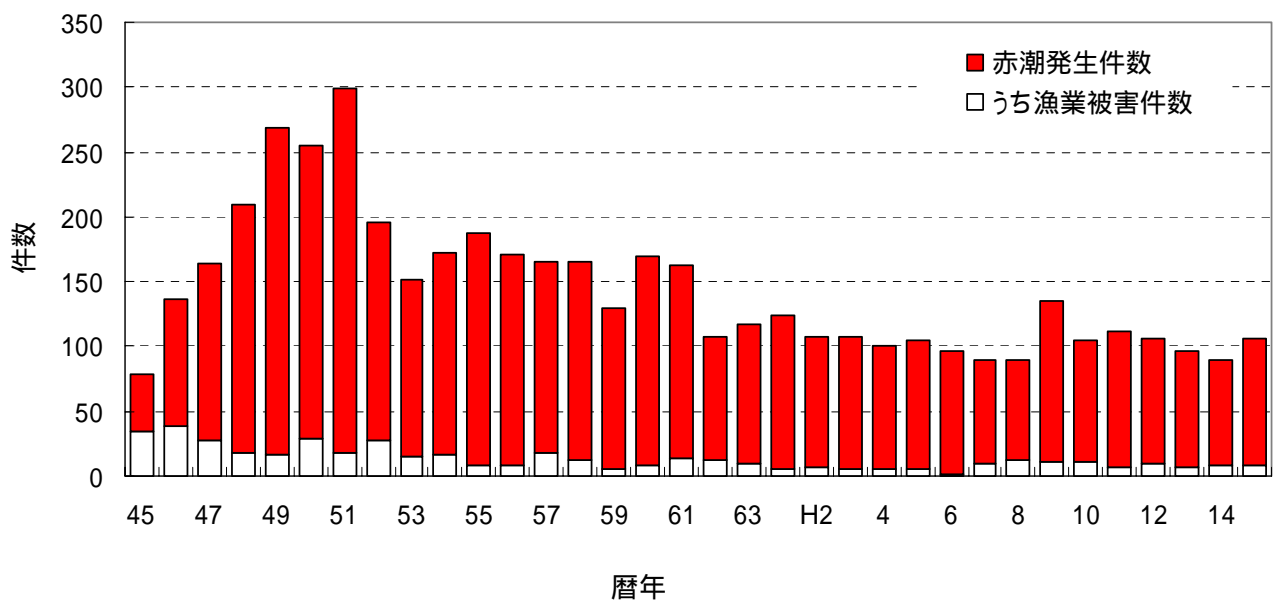
出典) 関係都県調べ

図 1 8 東京湾及び伊勢湾における赤潮の発生状況



出典)「瀬戸内海の赤潮」(水産庁瀬戸内海漁業調整事務所)をもとに環境省が作成

図 1 9 瀬戸内海における湾灘別・水域面積当たりの延赤潮面積(平成 15 年)



出典)「瀬戸内海の赤潮」(水産庁瀬戸内海漁業調整事務所)

図 2 0 瀬戸内海における赤潮の発生状況